

第73回“社会を明るくする運動”中間報告

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

第73回目を迎えた“社会を明るくする運動”も、地域の皆様の御協力により、各事業を無事開催することができています。

今回は、強調月間（7月）に開催された事業を中心に、各事業の主幹である飯田地区保護司会の専門部から、事業の報告をいたします。

1 街頭啓発活動 [飯田地区保護司会・総務部]

7月3日の朝、飯田・鼎・桜町・伊那上郷駅前で、主に高校生を対象に啓発活動を行いました。

好天に恵まれ、爽やかな空気の中で、地域の皆様に社会を明るくする運動についてPRでき、良いスタートを切ることができたと思います。



2 内閣総理大臣メッセージ伝達式・公開ケース研究会 [飯田地区保護司会・研修部]

7月11日、羽場公民館にて「内閣総理大臣メッセージ伝達式」及び「公開ケース研究会」を開催しました。飯田西中学校区羽場・丸山地区から81名の方に参加いただきました。



「内閣総理大臣メッセージ伝達式」では、社会を明るくする運動強調月間開始にあたり、内閣総理大臣からのメッセージが、飯田市長へ伝達されました。

「公開ケース研究会」では、『特殊詐欺に加担してしまった少年』という事例を取り上げ、

1. なぜ事件に加担してしまったのか 2. 自分がこの少年の親であったとしたら 3. 家庭、地域社会の役割 について5グループに分かれて話し合いました。

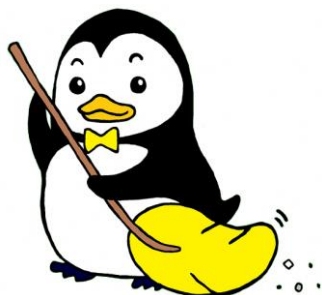
参加者から「親子関係の構築、家庭内のコミュニケーションが大切」「困った時は相談すること」「地域の活動に声掛け誘う。とじこもらせない。」「ご近所には知られたくないと思ってしまう。周囲の目に耐えることができるだろうか」など多くの様々な意見が出されました。

少年犯罪について考えるきっかけ、地域の方々が意見を交わす良い機会になったと思います。



3 中学生対象講話会 [飯田地区保護司会・協力組織部]

7月14日、竜峡中学校にて「中学生対象講話会」を行い、総勢172名の方にご参加いただきました。講師に、小林英樹先生（竜峡中学校OB/役者）を招き、「Yes, and で心地いいコミュニケーション」というテーマで、人との良好な関係を築くコツのお話を聞きました。



- ◆ 「会話は言葉のキャッチボール」
- ◆ 「良好な関係を築くには相手との会話を続けるためのテクニックが大切」

講師の話に合わせ教師及び生徒の代表が登壇し、講師のリードで実践形式の会話のやりとりを体験学習しました。講師が竜峡中学校の先輩という親近感があり、また実践を取り入れた講演は大変分かりやすく、生徒たちは熱心に聴講、今後活かしたいと感想がありました。

4 地区講演会 [飯田地区保護司会・広報部]

7月20日、南信濃公民館にて「地区講演会」を行いました。熊谷邦千加氏（飯田市教育長）を講師に迎え「多様性とウェルビーイング」を演題にお話をさせていただきました。

講師のお話がわかりやすく、楽しく講演していただき、あっという間に時間が過ぎてしまいました。講師との交流（質疑応答）の時間を持てなかったことが残念です。



当日は、上村、南信濃地区から51名の皆さんにご参加いただきました。

5 小中学生作文コンテスト [飯田地区保護司会・協力組織部]

毎年飯田市内の全小中学校のご協力のもと実施している作文コンテスト。本年度は計540点（小学生328点、中学生212点）の応募がありました。そのなかで特に優れた作品について、飯田市選考委員会（9月11日開催）から長野県選考委員会に推薦しました。

県の選考の結果が届くのは年明けの予定です。

学校を通じて選考結果をお知らせするとともに、応募いただいた方全員に参加賞を、入賞された方には賞状等をお渡ししますので、楽しみに待っていてください。



飯田市選考委員会の様子（9/11）

上記の事業はすべて皆さまから寄せられた「愛のはがき募金」により開催しています。
この他にも、更生保護ミニ集会や学校講演会等の開催費用や、更生保護や犯罪予防の
ための活動を行う市内団体の活動資金として活用させていただいています。
「愛のはがき募金」の募金総額は 2,822,608 円です（9/15 現在）。
皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。

社会を明るくする運動飯田市推進委員会 事務局（飯田市役所福祉課）

